

第4章 教育の情報化

第1節 基盤整備

県立学校、図書館、美術館及び博物館等の教育関係機関が専用イントラネット及び電子メール等のインターネットサービスを利用できるよう、平成11年度から県教育センターを拠点として運用している情報環境の基盤「うつくしま教育ネットワーク」により、専用基盤での教育情報の提供・検索、情報教育での活用などを可能とし、電子情報利活用のための利便性の維持を図っている。

また、県立学校の教職員が校務に使用するパソコンについては、平成21年度までに、県立学校に教員1人1台に相当するパソコンの配備を行ったが、平成28年度はWindows Vistaのサポート期限到来に備え、228台の更新・配備を行った。

さらに、次期メールシステム及びテレビ会議システムとして、教員の多忙化解消等の視点を踏まえ、グループウェア機能を持つGoogle社の運営するG Suite for Educationを活用した「ふくしま教育クラウドサービス (FCS)」の試行運用を開始した（本運用は平成29年10月の予定）。

うつくしま教育ネットワークのサービス

- ・ ホームページの利用環境
学校や教育関係機関等のホームページを設置できるスペースを提供し、取組や研究成果などを広く共有する場を提供する。
- ・ 電子メールサービス
電子メールアカウントを、教職員、学校、教育関係機関等に発行する。
- ・ 不適切情報のフィルタリング
児童・生徒に触れさせたくない情報をネットワーク拠点で一元的に管理し、教育にふさわしい情報の提供を行う。
- ・ セキュリティやウィルス等への対策
- ・ 教育情報データベース（アーカイブとして公開）
- ・ コミュニケーション環境（メーリングリスト、メールマガジン等）
- ・ ヘルプデスクによるネットワークサービスの相談受付

過去10年間の県立学校基盤整備状況

年度	教職員PC配備実績	校内LAN整備
H19	9 2 6 台	
H20	7 3 5 台	
H21	2, 0 4 9 台	7 校
H22	0 台	
H23	3 1 6 台 ※1	
H24	1, 3 9 5 台 ※2	1 校
H25	8 1 4 台 ※2	
H26	0 台	
H27	0 台	
H28	2 2 8 台 ※3	

※1 東日本大震災に伴うサテライト拠点校等への緊急配備

※2 WindowsXPのサポート終了に伴う更新

※3 Windows Vistaサポート終了に伴う更新等

学校の基盤整備状況（小・中・高・特別支援学校）

項目	福島県	全国平均
コンピュータ1台当たりの児童生徒数	5.2人	5.9人
校務用PCの整備率	113.0%	118.0%
普通教室のLAN整備率	81.0%	88.9%
電子黒板のある学校	75.4%	79.4%
超高速インターネット接続率	76.2%	87.2%
校務支援システムの整備状況	63.1%	85.9%
デジタル教科書の整備状況	35.0%	48.3%
学校CIOの設置状況	28.8%	43.6%

H29.3月現在 文部科学省調べ

第2節 人材の育成・活用

すべての教職員がコンピュータを操作でき、コンピュータを用いて指導できることを目指して、研修の充実を図っている。

人材の育成状況

項目	福島県	全国平均
教材研究・指導の準備・評価などにICTを活用する能力	80.4%	84.0%
授業中にICTを活用して指導する能力	66.7%	75.0%
児童・生徒のICT活用を指導する能力	64.0%	66.7%
情報モラルなどを指導する能力	77.4%	80.0%
校務にICTを活用する能力	75.7%	80.2%

H29.3月現在 文部科学省調べ